第10章　社　債

10－1　発　行

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　社債の内容を理解しよう！

②　社債の発行時の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「社債」勘定（負債）

「社債発行費」勘定（費用）

（1）社債とは？

社債の発行とは、長期的な資金調達のために社債券を発行し、不特定多数の投資家から長期間の借入を行うものです。

株式の発行と比べると、株式の発行で調達した資金は株主の出資であり、返済義務はありませんが、社債の発行で調達した資金は社債購入者（社債権者）からの借入金であり、返済日（償還日）が来れば返済（償還）します。また、株式の発行の場合、企業が獲得した利益の分配として配当金を支払いますが、社債の発行の場合、借入金額（額面金額）に対する利息を支払います。

（2）発行形態

社債を発行する際には額面金額とは別に、社債を発行したときに社債の購入者（社債権者）から払い込まれた金額である**払込金額**（発行価額）を決定します。社債は債務額である額面金額と発行価額である払込金額は同額である必要はありません。なお、**社債の額面金額**とは、社債券に記載されている金額で、社債の保有者（社債権者）に将来返済すべき金額です。

社債額面金額と社債払込金額との関係から、社債の発行は次の３つのケースがあります。試験では割引発行（わりびきはっこう）が主に出題されます。

① 平価発行（へいかはっこう） … 社債額面金額 ＝ 社債払込金額
② 打歩発行（うちぶはっこう） … 社債額面金額 ＜ 社債払込金額
③ 割引発行（わりびきはっこう） … 社債額面金額 ＞ 社債払込金額

（3）発行時の会計処理

社債を発行した場合、払込金額を「**社債**」勘定（負債）で処理します。

例題10－1　2031年1月1日に、社債額面20,000円を額面@100円につき@97円で発行し、払込金額は当座預金とした。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**19,400**	**社債**	**19,400**

社債：@97×発行口数200口＝19,400

発行口数：額面総額20,000÷@100＝200口

（４）社債発行費

社債発行費とは、社債発行のために直接支出した費用をいいます。

例えば、社債募集のための広告費、金融機関の取扱手数料、社債等の印刷費、登記の登録免許税等があります。

社債発行費は、支出時に「社債発行費」勘定（**費用**）で処理します。

例題10－２　**社債を発行し、社債発行に関する費用300円を小切手を振り出して支払った。**

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
社　債　発　行　費	**300**	**当　座　預　金**	**300**

10－2　社債利息

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　社債に関する利息の内容を理解しよう！

②　社債利息に関する仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「社債利息」勘定（費用）

（１）利払日

社債に対する利息は、利払日に社債券に付いた利札（りふだ）（クーポン）と引き換えに支払われ、額面金額に利率を乗じることで計算されます。借入金に対する利息である「支払利息」と区別するために、「**社債利息**」勘定（費用）で処理します。

例題10－３　**2031年1月1日に発行した社債（額面10,000円）の利払日が到来し、当座預金で支払った。利率は年２%、利払日は12月31日である。なお、決算日は12月31日である。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
社債利息	**200**	**当座預金**	**200**

社債利息：額面10,000×２%＝200

（２）未払社債利息の計上

利払日と決算日が一致しない場合、直近の利払日の翌日から決算日までの期間に対応する社債利息を月割計算し、**決算整理**において、「**未払社債利息**」勘定（負債）を見越計上します。

例題10－４　**2031年1月1日に発行した社債（額面10,000円）に関して決算整理仕訳を答えなさい。利率は年２%、利払日は12月31日である。なお、決算日は３月31日である。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
社債利息	**50**	**未払社債利息**	**50**

社債利息：額面10,000×２%× $\frac{3ヶ月}{12ヶ月}$ ＝50

10－3　償却原価法（定額法）

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　償却原価法の内容を理解しよう！

②　償却原価法の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「社債」勘定（負債）

「社債利息」勘定（費用）

社債を社債金額よりも低い価額（又は高い価額）で発行した場合、償却原価法に基づいて算定された価額をもって、貸借対照表価額とします。

額面金額と払込金額との差額（**発行差額**）は**金利の調整**という性質があります。例えば、割引発行は、社債の利率が市場利率と比べて低い場合、社債を額面より安く発行することにより、利札による利息と償還益（額面金額－払込金額）から得られる実質的な利率を引き上げることで社債の発行条件を有利にするためです。

そこで、償却原価法を適用し、発行差額を発行日から償還日にわたり利息として配分していきます。

償却原価法とは、社債を額面金額より低い価額又は高い価額で発行した場合において、発行差額を償還日に至るまで毎期一定の方法で貸借対照表価額に加減する方法をいいます。なお、当該加減額は社債利息に含めて処理します。債券を額面金額より低い価額で発行した場合の償却額に関する決算整理仕訳は以下となります。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
社　債　利　息	×××	**社　　　　債**	×××

償却原価法には**利息法**（りそくほう）と**定額法**がありますが、２級では定額法を学習します。

定額法とは、社債の発行差額を発行日から償還日までの期間で除して各期の損益に配分する方法をいいます。償却額の算定は以下の式で行います。

$$\textbf{償却額} = (\textbf{額面金額} - \textbf{払込金額}) \times \frac{\textbf{当期の経過月数}}{\textbf{発行日から償還日までの月数}}$$

例題10－5　**2031年1月1日に、社債額面10,000円（額面100円につき97円）を発行し、払込金額は当座預金とした。利率は年２%、利払日は12月31日、償還期限は2033年12月31日である。なお、利息は当座により支払った。決算日は12月31日である。償却原価法（定額法）を適用する。**

① 発行時（2031年1月1日）

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
当　座　預　金	**9,700**	**社　　　　債**	**9,700**

社債：@97×発行口数100口＝9,700

発行口数：額面総額10,000÷@100＝100口

② 利払日（2031年12月31日）

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
社　債　利　息	**200**	**当　座　預　金**	**200**

社債利息：額面10,000×２%＝200

③ 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表（一部）

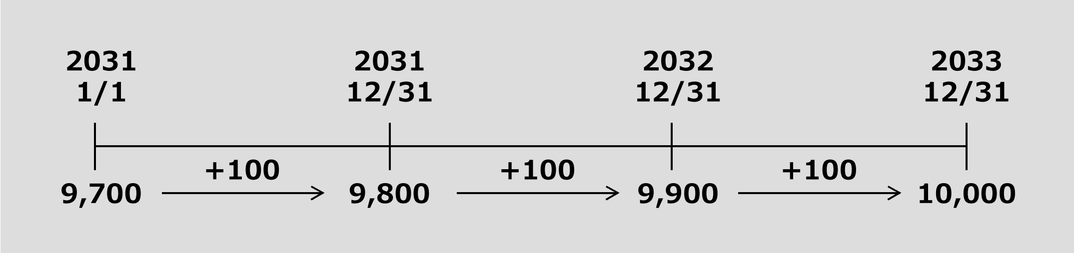
社　債　利　息	200	社　　　　債	9,700

④ 決算整理（2031年12月31日）

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
社　債　利　息	**100**	**社　　　　債**	**100**

社債：(額面10,000－払込金額9,700)×$\frac{12ヶ月}{36ヶ月}$=100

⑤ 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表（一部）

社　債　利　息	300	社　　　　債	9,800